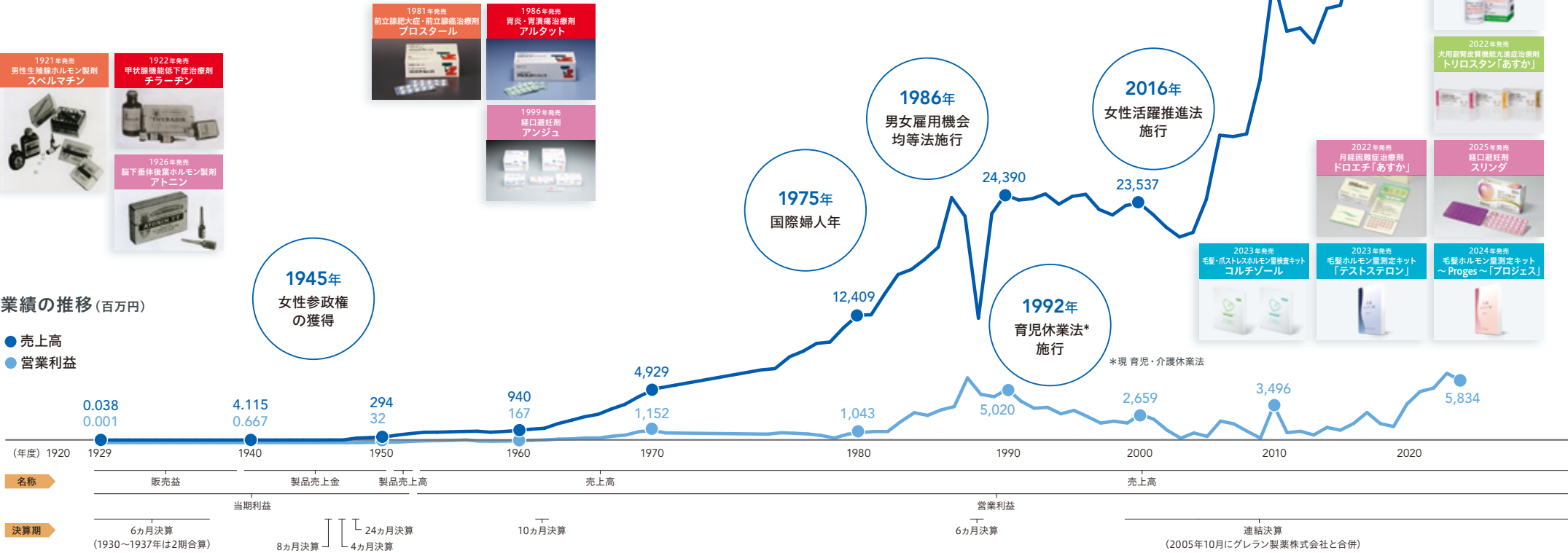


価値創造のあゆみ

あすか製薬ホールディングスグループは、創業以来のあゆみのなかで培ってきた創業力と専門性を基盤に、事業領域と提供価値を拡張してきました。現在は「ASKA VISION 2035」のもと、5事業を通じてヘルスケア領域で新たな価値創造を推進しています。中期経営計画2028では、事業基盤の強化とグローバル展開の加速を通じ、持続的な成長と企業価値向上を実現していきます。



1920年、山口十八が帝国社臓器薬研究所を創立。動物の臓器から有用な医薬品を創り出すという独創的な発想のもと、ホルモン製剤の研究・開発・製造・販売を開始しました。関東大震災や戦災による本社・工場の消失などの困難を乗り越えながら事業を拡大し、1955年には東京証券取引所に上場。ホルモン領域で培った技術と知見を強みに、成長基盤を築きました。

2005年「あすか製薬株式会社」が誕生。産婦人科、内科（消化器・甲状腺）、泌尿器科を重点領域と位置づけ、スペシャリティファーマへの転換を推進しました。研究開発への積極投資や製品ポートフォリオの拡充を通じて競争力を高めるとともに、ホルモン製剤で培った強みを活かし、持続的成長に向けた事業基盤を強化しました。

2021年、あすか製薬ホールディングスへ移行。グループ経営体制のもと、医療用医薬品事業、アニマルヘルス事業、検査事業を中心に事業を運営するとともに、中期経営計画2025を推進しました。また、Hataphar社の連結子会社化やMedChoice社との連携を通じて海外事業基盤を構築し、将来の成長を支える事業ポートフォリオの拡充を進めました。

長期ビジョン「ASKA VISION 2035」の実現に向け「日本発のグローバル・スペシャリティ・ヘルスケアカンパニー」を目指し、新たな成長ステージへ挑戦しています。中期経営計画2028では「国内医療用医薬品」「創薬」「グローバル」「アニマルヘルス」「検査・アラウンドビル」の5本の柱と「財務戦略」「経営基盤強化」の2つの土台を軸に、持続的な成長と企業価値向上を推進していきます。

イントロダクション

- 1 理念体系
- 3 目指す姿への道筋
- 4 価値創造のあゆみ

価値創造ストーリー

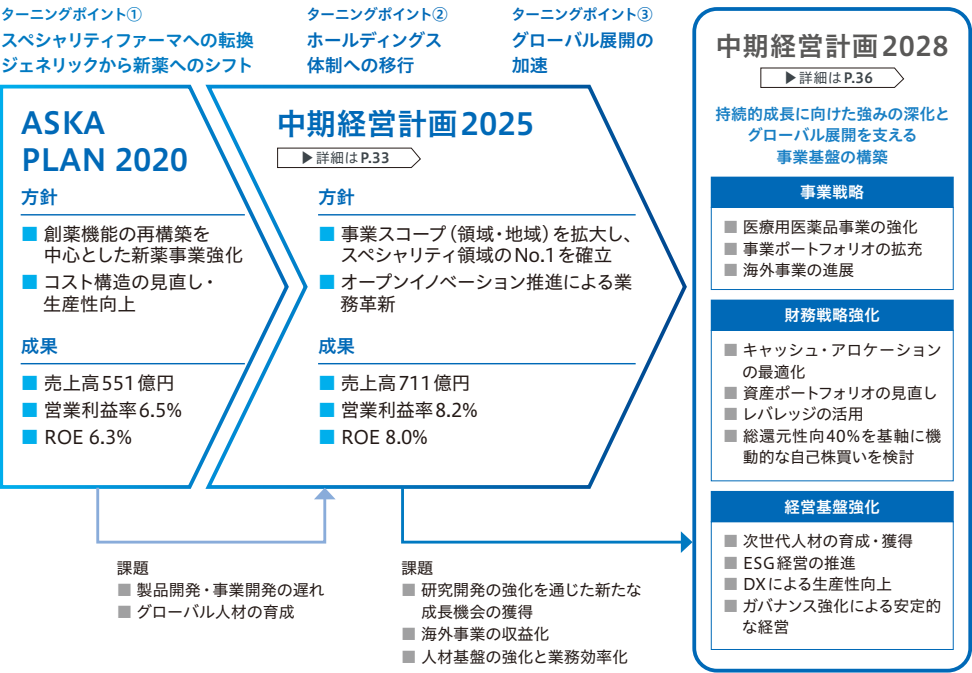
戦略解説

価値創造の基盤

コーポレートデータ



中期経営計画の変遷と価値創造のターニングポイント



① スペシャリティファーマへの転換(ジェネリックから新薬へのシフト)

■ 背景

高齢化に伴う医療ニーズの高度化と社会保障費抑制の圧力により、ジェネリック医薬品の価格競争が激化し、収益性の低下が課題となっていました。当社はこの環境変化を踏まえ、2010年代後半よりジェネリックを基盤としつつ、高付加価値で差別化が可能なスペシャリティ領域への戦略的転換を推進しました。健康寿命延伸や個別化医療を背景に、研究開発力の強化と先発医薬品比率の向上を図りました。

■ ターニングポイントを通じた変化

研究開発資源を女性医療・希少疾患・ホルモン関連領域に集中し、独自のポジションを確立しました。産婦人科領域では長年の実績を強みにリーディング企業としての地位を強化するとともに、外部協業により新薬パイプラインを拡充しました。その結果、先発品比率の上昇と収益性の改善を実現し、スペシャリティ医薬品を軸とした安定成長へ転換しました。

② ホールディングス体制への移行

■ 背景

少子高齢化の進行に伴い、医療は治療中心から予防・健康管理を含む包括領域へ拡大しています。当社はこれに対応し、医薬品中心の事業構造から、予防・検査・診断・治療・予後まで価値を提供するトータルヘルスケアカンパニーへの転換を掲げ、2019年にホールディングス化を公表、2021年に移行しました。

■ ターニングポイントを通じた変化

グループ戦略の統括機能とガバナンスを強化するとともに、事業会社への権限委譲を進め、意思決定の迅速化を実現しました。これにより新規事業創出やM&A、外部連携が加速し、ポートフォリオの拡張と収益基盤の多様化が進展しました。持株会社体制は企業価値向上を支える基盤となっています。



③ グローバル展開の加速

■ 背景

国内市場は少子高齢化や薬価改定により成熟傾向にあり、中長期的な成長には海外展開の強化が不可欠です。当社は国内の強みを活かし、需要拡大が見込まれるアジアを中心に、M&Aや戦略提携によるグローバル展開を推進しています。

■ ターニングポイントを通じた変化

東南アジアを中心に事業基盤を拡大し、ベトナムではHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの子会社化により製造基盤と安定供給体制を強化しました。またフィリピンではMedChoice Pharma, Inc.との提携により、内分泌・甲状腺領域の強みを活かした事業展開を推進しています。これにより収益基盤の多様化とグローバルでの競争力向上が進み、トータルヘルスケアカンパニーとしての進化を加速させています。



Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company (ベトナム)



MedChoice Pharma, Inc. (フィリピン)

イントロダクション

- 1 理念体系
- 3 目指す姿への道筋
- 4 価値創造のあゆみ

価値創造ストーリー

戦略解説

価値創造の基盤

コーポレートデータ